

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第5部門第2区分  
【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公開番号】特開2000-240851(P2000-240851A)

【公開日】平成12年9月8日(2000.9.8)

【出願番号】特願平11-39474

【国際特許分類】

**F 1 6 L 3/22 (2006.01)**

**F 1 6 L 3/223 (2006.01)**

**F 1 6 L 3/12 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 L 3/22 Z

F 1 6 L 3/12 G

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月17日(2006.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

また、係合本体は、硬質樹脂、金属等、硬度を持つ適宜の硬質材を用いる事ができる。そして、例えば、POM等のポリエーテル樹脂、PPやPE等の炭化水素系樹脂、ナイロン等のポリアミド樹脂を用いれば、配管の保持性に優れた適度な硬度を係合本体に持たせる事ができる。そして、係合片が配管の表面に強く突き当たり、配管の抜けや位置ズレを良好に防止可能となる。また、固定本体を形成する軟弾性材との接着性も良好で、係合本体の固定本体への埋め込みを容易に行う事ができる。